

# 輝くねむろ

We Love Nemuro!



笑顔の活動を引き継いでもらいたい

5月1日に総合文化会館で開催された「子どもの日のつどい」は、元気な子どもたちや親子連れでにぎわいを見せました。

このイベントは、大勢のボランティアなどの力が支えられています。マジックバルーンコーナーを応援した根室高校ボランティア局のメンバーも、風船で作り上げた動物などをプレゼント。また、子どもたちと一緒に、作品づくりに挑戦する姿も見られました。局長を務める金澤郁美さんは、「子どもたちが喜んでくれたことが、とてもうれしかったです。週1回ほどの練習な

ので、作品も10種類ほどしかありませんが、この笑顔がこれからの作品作りの力になっていくと思います。」と、局員の励みとなった一日だったと言います。金澤さんが局に参加したのは、子どもたちとの触れ合いと、団体活動から生まれる仲間との交流が目的でした。先輩から引き継いだ活動の意義を、後輩たちにも感じてほしいと話します。ボランティア局は、毎週土曜日の図書館での読み聞かせやさんま祭りへの参加、保育所訪問など、積極的な活動の中で、子どもたちとの交流を深めています。



色とりどりのマジックバルーンは大人気

profile **金澤 郁美** さん  
北海道根室高等学校3年

1994年生まれ。根室高等学校ボランティア局員26人の局長を務める。子どもたちとの触れ合いを求めるとともに、局の先輩となる姉の影響から局に参加。持ち前の明るさと元気で、リーダーとしての実力を発揮。



さらに「こどものつどい」を通して、子どもたちの心の中に残る楽しい記憶が、図書館利用の拡大につながるよう、これからも工夫を凝らしていきたいと考えています。

このつどいは、子どもたちに本や図書館に親んでもらおうと、工夫を凝らし読み聞かせなどの楽しさを提供しています。この成果もあって、最近では継続した参加者やお父さんとの親子連れなど、安定した集客につながっています。特に、色画用紙などを使った簡単工作が大人気で、図書館ボランティアのサポートもあって、とても楽しい雰囲気がつどいになっています。

## 図書館を親子の楽しい遊び場に

図書館  
からの  
おくりもの

司書補 中村 英博  
図書館 TEL (23)5974番



「こどものつどい」での読み聞かせ